

知床の窓から見えるもの

2021年1月4日（月曜日）

あけましておめでとうございます 本年も宜しくお願い致します



社会医療法人孝仁会 知床らうす国民健康保険診療所は、公設民営で令和2年7月に9年目を迎えました。患者様が安心してかかれる、思いやりと笑顔あふれる診療所を今後も目指していく所存です。本年も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い致します。

今回の記事を担当させていただくのは、同じ系列の医療機関から転勤で参りました事務員です。

羅臼に初めて訪れたのは、平成20年の夏です。自分の車を購入して、初めての遠出でした。初めて羅臼岳を見た時の感動は今でも忘れません。なんて壮大な景色だろう！！と感じました。知床が世界自然遺産に登録されたのは平成17年なのですが、登録された理由がわかった瞬間でした。まさか、その10年後に羅臼で働くことになるとは思っていませんでした（汗）羅臼に住んでまもなく丸3年となりますが、転勤する前は僻地ということもあり、とても不便な生活になると思っていましたが、来てみるとコンビニやスーパー、薬局など近くにあるため、そこまで不便に感じておりません。それよりも自分が住んでいる職員住宅の前から壮大な羅臼岳を見ることができて、今でも感動します！

羅臼の医療体制は紆余曲折を経て、今に至っております。平成24年7月に公設民営による指定管理者制度で運営される前は、一般病床の休止や24時間救急の受入休止など地域住民の方たちにとって、ご不便をおかけした時期がありました。令和3年7月に10年目を迎えますが、一般病床の受入や24時間救急体制を維持できているのは当診療所の職員の努力だけでなく、羅臼町役場や地域住民の方たちのご理解やご支援があってこそ運営できていると感じております。羅臼町に興味がある医療関係者の方はぜひ一度来てみてはいかがでしょうか。オール電化の職員住宅も完備されており、とても快適な生活を送ることができます！仕事にプライベートに充実した日々を送ることができます！

